



 緑の園 2月号

ヒルトップハイツ

グリーンプラザ



デイサービスセンター

だより



第56号

令和 3年2月1日発行

Deep Purple/Fireball(1971)



2月は立春。冬はもうすぐ
終わります。(たぶん...)

この原稿を書いている今日現在(1/27)北海道における新型コロナウイルスへの新規感染者数は減少傾向にあるとの見方がなされています。

実際、ここ数日は目に見えて減ってきているのが素人の私にもわかるほど、一日の感染者数は減っている日もあります。

でもこれは主に札幌圏や全道的な人数です。

オホーツク管内で見るとむしろ増えているようで、実際には今まで以上に身近に迫り緊張感が高まっています。

今回の感染症は音もたてずどこからか近づいてきて感染しても無症状な場合もあって拡がっても気づきにくいという特徴があり、いまさらながら本当に恐ろしい感染症です。

北海道は令和3年1月16日(土)~2月15日(月)までを「集中対策期間」として

※緊急事態宣言の対象地域との不要不急の往来を控える。



※感染リスクを回避できない場合

- ・札幌市内においては、不要不急の往来を控える。
- ・札幌市との不要不急の往来を控える。

※できる限り同居していない方との飲食は控える

等私たち道民に向けて協力の要請をされております。

遠からず予防のためのワクチン接種が始まります。

マスクあたりは副反応の存在をことさらあおっていますが、接種することによりどれほど感染リスクが軽減するのかを伝えていただきたいと思います。

接種することで100%感染リスクがなくなるとは思いませんが、少なからず人と会ってお話ができる状態には戻れるかもしれません。

「マスク・手洗い・換気」はこれからもしばらくは継続しなければならないのですがこれらを習慣づけることにより新型コロナウイルスに限らずインフルエンザだって予防できます。

私たちはいい習慣を身に付けたと思ってこれからも予防に努めていきましょう。(終わり)



2月の時候のあいさつは？ 春寒の候、立春の候、残寒の候 晩冬の候、余寒のみぎり…。 北海道は厳寒の候!?



「きさらぎ」の由来は寒さのためにさらに衣(きぬ)を着ること、「着更着」(きさらぎ)「衣更着」から転じたという説があります。

さて、2月の行事は節分があります。

例年ですと豆まきを各施設で行いますが、残念ながら今年は密な空間を作り出さないためにできません。



ホントに今は何もできずただじっとしているだけの毎日の連続で利用者様には私たち職員一同大変申し訳なく思っております。

このような状況ですので、「ストレス」を扱った記事を見かけることが多くなったように思います。

そんな中、メンタリスト「DAIGO(ダイゴ)」さんのコラムに「子供のころ父親との関係が良かった人は、大人になってからメンタルが安定するといわれている一方、母親との関係が良かった人は、年収が高くなる傾向がある」という記載がありました。



私自身、親との関係はどうだったかを考えてみましたが、自分が育ってきた環境そのものが良かったのか、悪かったのかについて正直なところわかりません。

個人的には両親との関係性は悪かったとは思いますが両親から見た自分はどうだったのかなど気になることではあります。

しかしながら親が子供に与える影響は強いことに間違いはないもののいつまでも影響を及ぼし続けるもの

でもなく、特に友人の存在が親以上に強く影響するようで、コラムの中で言っていたのは人間関係をしっかりと築いている人は幸福度が高く、脳が老化しにくいというメリットが指摘されているそうです。

人間関係全てに渡り親子関係も友人関係も同じで相手は相手、自分は自分と適度に距離をとって、お互いを個人として認め合うことが良い関係を築くためには必要なようです。

私はそんなに友人の数は多くはありませんが、まさしく「竹馬の友(今この表現使うのか?)」というべき小学校からの50年来からの友人とはこの時期なので残念ながら1年以上会えずに電話だけのやりとりだけですがお互い楽しい時間を共有しています。

「これからもっと耐え忍ばなければならないことがあるとしても、より良い日が戻ってくることを心の支えにしましょう。お友達にもまた会えます。

ご家族にもまた会えます。私たちはまた会えるのです。」

イギリスのエリザベス女王のお言葉です。

こんな友人との関係こそ日頃の生活を楽しく過ごしていくために些細な話題でも笑顔になれる存在として貴重なんだと思います。

2月の話題を紹介するつもりでしたが、2月は程遠い話題を提供してしまいまして誠に申し訳ございません。

ただ、表題の季語のとおり冬は進みもうすぐ終わります。

まだ制約が多くあるかもしれませんが待ち焦がれた春はもうすぐです。(おばら)

